

2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高島 正樹 (TEL) 025-270-7111
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	27,679	△3.2	1,955	13.4	1,977	17.2	1,519	30.1
2020年6月期第3四半期	28,592	△0.0	1,724	17.0	1,686	14.0	1,168	30.8

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 1,796百万円(58.8%) 2020年6月期第3四半期 1,131百万円(85.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	82.47	—
2020年6月期第3四半期	63.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	21,940	12,825	58.5
2020年6月期	22,053	11,174	50.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 12,825百万円 2020年6月期 11,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	—	—	8.00	8.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年6月期期末の配当8円00銭には、55周年記念配当1円00銭が含まれております。

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	2.6	1,900	0.6	1,900	1.7	1,000	295.6	54.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	18,590,000株	2020年6月期	18,590,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	158,688株	2020年6月期	161,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	18,429,510株	2020年6月期3Q	18,426,982株

（注）当社は、「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数については、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2021年6月期3Q93,600株、2020年6月期96,200株）が含まれております。また、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式については「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2021年6月期3Q95,420株、2020年6月期3Q97,950株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年7月1日～2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに対する度重なる緊急事態宣言による外出自粛の影響で個人消費は大きく落ち込み、また入国規制によるインバウンド需要が激減したことなどにより、国内経済は広範に影響を受けました。世界に目を向ければ、国民へのワクチン接種が順調に進んでいる国もあり、アフターコロナを見込んで3月にはダウ平均株価は32,000ドル台に達するなど経済回復への期待が先行する一方で、新型コロナウイルス変異株によるパンデミック再拡大の懸念など、依然として予断を許さない状況が続いております。

新型コロナウイルス感染予防のため外食を控え、内食化傾向が高まることでフードデリバリーの需要やECサイトでの買物が増加するなど、ニューノーマルという新しい生活様式への対応が求められるなか、消費者の価値観・購買行動は大きく変化してきております。

また、厳しい経済状況が継続することによるデフレ経済の再燃懸念、原材料価格の高騰や人手不足を背景とした人件費の増加などコストの上昇が見込まれており、依然として当社グループを取り巻く経営環境には厳しいものがあります。

このような状況のもと、当社グループでは、「ICHIMASA30ビジョン」(30年後の目指す姿)を目指し、2016年7月から2021年6月までの5ヶ年の中期経営計画の最終年度を迎え、「成長基盤創り」と「お客さまが中心」を基本方針とし、引き続き経営課題に取り組んでおります。

また、地球環境の維持は企業活動の持続的な成長・発展のためには不可欠であり、2015年9月に国連総会で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」の達成を目指し、当社グループもステークホルダーの皆さまと協働しながら、社会のサステナブルな課題の解決に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高276億79百万円(前年同四半期比9億12百万円(3.2%)の減少)、営業利益は19億55百万円(前年同四半期比2億30百万円(13.4%)の増加)、経常利益は19億77百万円(前年同四半期比2億90百万円(17.2%)の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億19百万円(前年同四半期比3億51百万円(30.1%)の増加)となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

主力商品群のカニかまは魚肉たんぱくが手軽に摂れる食材として浸透し、健康志向の高まりが続くなかで販売が伸長しております。定番商品である「サラダスティック」、「オホーツク」、「ピュアふぶき」や食べ応えのある「大ぶりカニかま」も好調に推移いたしました。また、竹輪も使い勝手の良さやおつまみとしての需要が増加し、売上が伸長いたしました。

年末のおせち商品では、主原料・副材料のすべてが国産の「純」シリーズの蒲鉾や伊達巻が前年を超える売上げを達成いたしました。

おでん商材では、新型コロナウイルス感染拡大予防のための外出自粛により内食需要が増加したことから、調理の簡単なレトルトおでんが堅調な売れ行きとなった一方で、昨夏の猛暑に続き、例年であれば販売が本格化する秋口もしばらくは気温が高めに推移したことにより揚物は厳しい売上状況となりました。

利益面におきましては、新興国の経済成長や世界的な健康志向の高まりから水産加工品需要が拡大し、すり身価格は依然として高止まりの状況が続いておりますが、生産ラインの合理化や商品アイテムの見直しなどの内部要因やエネルギー単価下落の外部要因の影響もあり、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は235億93百万円(前年同四半期比6億97百万円(2.9%)の減少)、セグメント利益(営業利益)は10億55百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)7億76百万円)となりました。

② きのこと事業

11月後半から12月にかけて、気温が記録的に高い状態が続き、野菜の生育が順調に進んだことから相場は急落し、野菜市場価格及びきのこ市場価格は軟調となりましたが、年末から1月にかけては低温と大雪の影響で、野菜市場価格が持ち直したことで、きのこ市場価格も回復しました。

しかし、2月後半から3月にかけて気温が高めに推移して野菜の生育状況が改善されたことから、野菜市場

価格及びきのこ市場価格は再び軟調となり、前年が新型コロナウイルスによって巣ごもり需要が拡大し販売が好調だった反動も重なり、きのこの販売については厳しい環境となりました。

生産面におきましては、安定栽培や生産の効率化、品質管理体制の強化に努めるとともに、販売面におきましては、家庭内調理の需要の高まりを受けてメニュー提案を強化し需要喚起を図りました。

利益面におきましては、業績不振であった連結子会社の事業停止があるものの、きのこ市場価格の下落により前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は37億31百万円(前年同四半期比2億3百万円(5.2%)の減少)、セグメント利益(営業利益)は8億30百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)8億46百万円)となりました。

③ その他

(運送事業・倉庫事業)

運送事業におきましては、定期輸送便の一部終了により売上高は前年同四半期を下回りましたが、経費抑制及び燃料価格の値下がりもあり、利益は前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、前年実績を上回る新規入庫を獲得いたしました。保管在庫量が低調に推移した結果、売上高・利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は3億54百万円(前年同四半期比11百万円(3.2%)の減少)、セグメント利益(営業利益)は55百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)91百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は77億81百万円(前連結会計年度末比2億31百万円の増加)となりました。

これは主に現金及び預金の増加、商品及び製品ならびに原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は141億59百万円(前連結会計年度末比3億44百万円の減少)となりました。

これは主に投資有価証券の時価上昇による増加の一方、有形固定資産の売却及び減損損失の計上による減少であります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は61億28百万円(前連結会計年度末比6億91百万円の減少)となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は29億87百万円(前連結会計年度末比10億72百万円の減少)となりました。これは主に社債ならびに長期借入金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により128億25百万円(前連結会計年度末比16億50百万円の増加)となり、自己資本比率は前連結会計年度末の50.7%から58.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日に公表した業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,316,993	2,251,327
売掛金	2,916,514	3,039,309
商品及び製品	959,620	482,583
仕掛品	497,666	365,143
原材料及び貯蔵品	1,720,793	1,476,417
その他	138,738	167,270
貸倒引当金	△650	△491
流動資産合計	7,549,676	7,781,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,722,354	4,152,607
機械装置及び運搬具(純額)	2,467,594	2,644,235
工具、器具及び備品(純額)	130,736	124,478
土地	3,267,083	3,179,344
リース資産(純額)	216,361	207,812
建設仮勘定	30,840	155,379
有形固定資産合計	10,834,970	10,463,858
無形固定資産	515,468	477,008
投資その他の資産		
投資有価証券	2,564,792	2,884,497
その他	613,498	358,384
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	3,153,791	3,218,382
固定資産合計	14,504,229	14,159,248
資産合計	22,053,906	21,940,810
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,090,638	1,199,412
短期借入金	1,828,584	1,669,874
未払法人税等	306,860	529,694
賞与引当金	69,450	270,563
子会社整理損失引当金	55,897	62,736
未払金及び未払費用	1,798,101	1,910,398
その他	670,031	485,604
流動負債合計	6,819,564	6,128,284
固定負債		
社債	400,000	300,000
長期借入金	2,765,585	1,829,698
役員退職慰労引当金	31,435	33,479
役員株式給付引当金	74,894	84,490
繰延税金負債	402,722	358,509
その他	385,104	380,853
固定負債合計	4,059,741	2,987,030
負債合計	10,879,306	9,115,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	8,404,857	9,776,548
自己株式	△122,501	△119,646
株主資本合計	9,872,356	11,246,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,151,397	1,361,491
為替換算調整勘定	150,846	217,101
その他の包括利益累計額合計	1,302,243	1,578,592
純資産合計	11,174,600	12,825,494
負債純資産合計	22,053,906	21,940,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	28,592,706	27,679,745
売上原価	20,613,983	19,555,210
売上総利益	7,978,723	8,124,534
販売費及び一般管理費	6,254,057	6,169,323
営業利益	1,724,666	1,955,211
営業外収益		
受取利息	221	698
受取配当金	15,502	17,934
受取賃貸料	20,441	20,891
受取手数料	23,343	17,632
売電収入	13,651	11,995
持分法による投資利益	—	4,739
雑収入	17,265	16,031
営業外収益合計	90,425	89,923
営業外費用		
支払利息	28,823	21,637
為替差損	45,280	70
投資有価証券評価損	—	6,474
持分法による投資損失	13,358	—
休止固定資産減価償却費	28,374	18,657
雑損失	12,491	20,721
営業外費用合計	128,328	67,562
経常利益	1,686,763	1,977,572
特別利益		
固定資産売却益	—	235,062
投資有価証券売却益	96,453	32,843
受取保険金	—	39,256
補助金収入	—	43,652
特別利益合計	96,453	350,815
特別損失		
固定資産除却損	848	2,302
減損損失	—	156,605
投資有価証券評価損	43,031	—
子会社整理損	34,929	—
子会社整理損失引当金繰入額	58,532	—
特別損失合計	137,342	158,907
税金等調整前四半期純利益	1,645,874	2,169,481
法人税、住民税及び事業税	729,484	776,907
法人税等調整額	△252,033	△127,316
法人税等合計	477,450	649,591
四半期純利益	1,168,423	1,519,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,168,423	1,519,889

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,168,423	1,519,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,518	210,094
為替換算調整勘定	22,627	66,009
持分法適用会社に対する持分相当額	1,717	245
その他の包括利益合計	△37,172	276,349
四半期包括利益	1,131,251	1,796,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,131,251	1,796,238
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,291,625	3,934,489	28,226,115	366,591	28,592,706	—	28,592,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,028,784	2,028,784	△2,028,784	—
計	24,291,625	3,934,489	28,226,115	2,395,375	30,621,491	△2,028,784	28,592,706
セグメント利益	776,303	846,956	1,623,260	91,390	1,714,650	10,016	1,724,666

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額10,016千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,593,989	3,731,027	27,325,017	354,727	27,679,745	—	27,679,745
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,900,178	1,900,178	△1,900,178	—
計	23,593,989	3,731,027	27,325,017	2,254,906	29,579,924	△1,900,178	27,679,745
セグメント利益	1,055,128	830,429	1,885,558	55,270	1,940,829	14,382	1,955,211

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額14,382千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	水産練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計			
減損損失	156,605	—	156,605	—	—	156,605

(重要な後発事象)

該当事項はありません。